

会 議 録

- 1 会議の名称 熊取町保健対策推進協議会
- 2 開催日時 令和7年7月22日（火）午後2時～3時30分
- 3 開催場所 熊取ふれあいセンター 4階 研修室
- 4 議題 案件1 役員選出について
案件2 令和6年度保健事業実施状況報告及び
令和7年度保健事業について
案件3 その他
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者数 0人
- 7 審議等の概要

案件1 役員選出について

○結果

委員の互選により、会長に泉佐野泉南医師会代表の桑原委員、副会長に自治会連合会会長の小西委員を選出。

案件2 令和6年度保健事業実施状況報告及び令和7年度保健事業について

○事務局説明

「資料1-1 母子保健事業」、「資料1-2 予防接種事業」、「資料1-3 健康増進事業」、「資料1-4 特定健診・特定健康指導事業」、「資料1-5 一般介護予防事業」「資料1-6 広域医療対策事業・その他」の各事業の令和6年度実施状況及び令和7年度保健事業について報告。

案件3 その他

○事務局説明

配布資料「ぴんぴん！元気だより」、「第4次健康くまとり21【概要版】」、「聞こえの相談」チラシ、「V.O.S提供店MAP」について説明。
また、「ナッジを活用した適正服薬推進事業」について事務局より口頭にて説明し、さらに道明委員からも補足説明あり。

○主な質疑応答

- 【委員】 資料1-3 P.16 大腸がん検診の実施状況において、がん発見数8名とあるが、年齢別の内訳を教えてください。
- 【事務局】 50歳～54歳1名、55歳～59歳1名、60歳～64歳1名、65歳～69歳1名、70歳以上4名の計8名である。
- 【委員】 大腸がん発見率は、どこの市町村も年間に数名であり、全国的にも少ない状況。そもそもの受診率が上がるような取組をしていくべき。医師からも検診の受診勧奨をしていく。
- 【事務局】 大腸がん検診について、精密検査が必要となった方の精密検査結果で、その他の疾患にはポリープなども多い。大腸がん検診ではがんだけでなく、その前段階の疾患の早期発見にも力を入れていきたい。医師のみなさまにも受診勧奨のご協力をいただきたい。
- 【委員】 タピオ体操の参加者から、2時間しっかり体操をするので厳しいという声を聞いた。個人のペースに合わせて休憩を取れたらより良いのではないか。
- 【委員】 タピオ体操について、最近は毎月40名前後の参加者がいる。練習日には、指導の先生が来たり来なかったり、参加者によるレクリエーションがあったりと、月によっても内容に変動があるため、その時々で対応している。
また、今年度、はじめてすすく相談でタピオ体操を実施した。まだ小さい子どもだが、反応があり、手ごたえを感じ、エネルギーをもらった。
- 【事務局】 歯科健診について、令和6年度より対象年齢が拡大した影響で、受診者数が伸びた。今年度はすでに6月末の時点で昨年度を超える受診者数であるが、歯科医師会の方でなにか取り組みされているのか。
- 【委員】 特に何か今までと変えた意向や取組はない。対象年齢の拡充が受診者増加の理由と考える。20歳以上で節目ではなく全員が年に1回受診できる市町は近隣では他にない。
- 【委員】 資料1-3 P.25 自殺者数について、年々減少傾向にあるが、若年の自殺者数は増えている。保健所には精神のサポートチームがいるので、気になる方がいたら保健所につないで欲しい。

8 審議会の情報

名称	保健対策推進協議会
根拠法令等	保健対策推進協議会規則
設置期間	平成25年4月1日～
所掌事項	次に掲げる事項についての審議、企画及び推進 (1) 健康に関する知識の普及 (2) 保健、栄養、食生活改善等の指導 (3) 健康に関する各種の集会、講習等の開催 (4) 健康相談、健康診査、その他健康を推進するための事業 (5) その他保健計画に関する調査及び保健計画策定等の検討、 評価並びに見直し
委員数	15人

9 担当課 健康・いきいき高齢課